

ロバの あしあと 東京から10年前に移住。 今では地域に欠かせない拠点に。

中面の記事で紹介した上石津町時地区に10年ほど前に家族とともに移住してきたのが、「カフェあめんぼ」の代表である雨宮英樹さんです。雨宮さんは東京でマクロビオティックカフェを営んでいましたが、お米や野菜を自分で作りたと思うようになり、移住を決意。不耕起栽培を学び、他の仕事をやりながら営農する半農半X（エクス）をめざします。



石窯ピッツアが大好評!

地元の70代の夫婦が営んでいた店を手放すことになり、それを引き継いだ形ではじめたのがこのカフェ。店内は太い木材が豊富に使われているところに、雨宮さんならではのセンスが加わり、心地いい空間になっています。



奥様がセレクトしたという絵本が並ぶ。大人も子どもも楽しめるお店になっています。



関が原の方にお勤めに出た時期も。その後、演劇で道具作りをしていた経験を活かし、木工製品を製造販売。そして、地域の特産品を扱うアンテナショップ「手づくり工房あめんぼ」へと発展しました。

CAFE あめんぼ / 手づくり工房あめんぼ

岐阜県大垣市
上石津町上多良1-1
緑の村公園
0584-45-3608



このまちに決めた理由を雨宮さんにお伺いしました。

妻の実家が三重にあるんですが、ここからなら車で40分くらいで行けるんですね。それで来てみたら、きれいな環境ですし、何よりも接してくれた住民の方々がみんな親切な人ばかりでしたので、すぐに好きになってしまいました。その頃は移住者はいなかったの、東京から突然やってきた僕らにビックリされた記憶があります。



「ロバのパン」は、移動販売のパン屋さん。昔懐かしい移動販売車で、岐阜市を中心に半径約1時間以内の地域を巡回しています(他の地域への訪問もあり)。本コーナー「ロバのあしあと」は、販売エリアの魅力スポットをエコツーツ独自の視点で紹介しています。



エコツーツ 77

エコムつうしん 77号 -11・12月号-



移住

- ここが知りたい! エコムちゃん: 上石津町時地区
- ロバのあしあと: カフェあめんぼ



発行: エコムカワムラ株式会社
岐阜県安八郡輪之内町里85番地の3

TEL 0584-68-2033 (代)

制作: いいデザイン mail@ishii-design.info



「エコツーツ」Facebook
<https://www.facebook.com/ecotsuu/>





学ぶ

遊ぶ

働く

ここが知りたい!
エコムちゃん

上石津町時地区

ここ数年で22家族、50人以上がこの地区に移住。移住を希望する方には住居や勤め先の相談にも応じている。



移住

住む場所を自分で決めたいという人が増えているというよ。

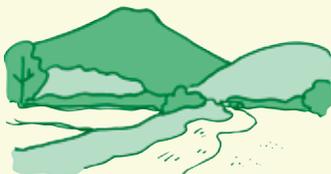
若者が親元を離れて暮らす場合、ひと昔前であれば、刺激的な都会にあこがれて、田舎から上京するケースがほとんどだったけれど、今は、地方をめざす人が多くなっているんだ。

ちなみに、移住先として人気がある県はというと、1位が長野県、2位が山梨県、3位が静岡県の調査結果が出ている。

生活する地域の条件として、便利さに価値を置く時代は過去のものになっていて、自然環境や気候の良さ、それに働く場所が確保できれば十分と考えているんだ。

一方で、地元志向の高まりも同じ流れによっている。親や友だちがいる土地に愛着を持ち、そこから離れたくないという人の割合がますます増えているらしいよ。

Ijuu



ふふふぎふ

岐阜県への移住・定住を検討している人のためのポータルサイト(岐阜県地域振興課が運営している)。地域の魅力や支援情報のほか、すでに移住した方々のインタビュー、移住・定住を促進するキーマン対談、移住・定住関連イベント情報などをお届けしている。このように、都市から農山漁村へ人の流れをつくる動きは、国レベル・多くの自治体で積極的に行われている。



大垣市上石津町時地区は、人口1,200人ほどの山あいにあるまち。高齢化が進み、人口減少が懸念されているなか、力を入れているのが移住定住促進だよ。そして、キーマンは、何とんでも移住定住コンシェルジュの伊藤芳(かおる)さん。彼のすごいのは、移住者を地域住民に紹介する際も「何か面倒があったら、責任を持つから。」と言い切るところ。地域への思いが強いから、できることもかもしれないね。



伊藤さんに地域の魅力をお聞きしました。

ここには不思議な魅力がありますね。美濃富士と呼ばれる烏帽子岳、牧田川、そして清らかな水に育まれた田んぼ、どこを捉えても日本の原風景が残っています。古くは伊勢神宮参拝、多賀大社参拝のための交通の要所にあり、旅人が出逢う交差点として栄えたまちでもあるんです。そんな歴史から、外から来た人をもてなす文化があるように思います。それでいて、車で1時間も走れば、関西、中京地域にも出られる便利さもあります。



まちの盛り上げ役なんだよ。

伊藤さんは、生まれも育ちも上石津町時地区。お勤め時代の豊富な経験・ネットワークを活かして、ふるさとに恩返しをしているよ。



お問い合わせ



時地区の街なみ

岐阜県大垣市上石津町上原 1380
大垣市上石津地域事務所
地域政策課 移住定住担当
電話 0584-45-3111



冠橋から見た烏帽子岳。牧田川の清らかな流れと田んぼがどこまでも続いている、この風景を見て、移住を決意する人もいます。



江口夜詩(よし)は、当地出身の作曲家。日本音楽昭和村の江口夜詩記念ホールは、プロ演奏家からも高く評価されている。